

タイの学校



私はタイの最東北部のウボンラーチャターニー県のナリヌクン校に10か月派遣されていました。クワイジャップという麺やムーヨーという豚肉のソーセージが有名で、ベトナム料理やイサーン料理がとてもおいしいです。また、鉄道の駅や空港がある交通の便利な街でもあります。

タイの学校には日本と違うたくさんのイベントがあります。今回はそのイベントを少し紹介します。



まず一つ目は「ワンワイクルー」です。「ワン」は「日」、「ワイ」は「拝む」、「クルー」は「先生」で、生徒が先生に感謝を表す日です。タイでは先生がとても尊敬されています。その先生たちに普段の感謝の気持ちを込めて学校全体でイベントをします。写真はステージで先生に深く礼をする生徒の様子です。



二つ目は日本語キャンプです。近隣の日本語を勉強している学校の生徒や先生、日本人の先生を招待して、全体で150名ほどで楽しく日本語を勉強します。今年は日本のゆるキャラを勉強して、自分たちの地域のゆるキャラを作りました。座学はほぼなく、「くまモンタッチ」を踊ったりゲームをしたりして、いつもとは違う環境で日本語を勉強したので、生徒は楽しく日本語に触れることができ、日本人の先生たちもとても嬉しかったです。





三つめはスポーツ大会です。学校全体を縦割り班にして、チームを作ります。日本と同じようにバレーボールやサッカーバスケットボールなど色々な競技があります。3日間にわたって行われ、最終日には学校の周りを歩くパレードもありました。大会中は運営、審判、交通整理、水分供給や保健係は生徒が行い、先生たちは応援するだけでした。



最後に、バレンタインのイベントです。

外国語課の文化祭のようなイベントで、各言語でブースを出したり、料理を作って販売します。今年は郵便局のブースを作って、ラブレターを書いてもらってポストに入れてもらい、翌日に教室へ配達するというブースを作りました。料理のコーナーでは、お好み焼きと焼きそばをふるまいました。



郵便局は大盛況で、たくさんの生徒が好きな人にラブレターを書いてくれました。また、お好み焼きや焼きそばはタイでも有名なので、作ったそばから売れていくという人気ぶりで、生徒たちも頻繁に味見をしながら作っていました。